



第120期

株主の皆様へ

平成27年4月1日～平成28年3月31日

昭和パックス株式会社

常にお客様への感謝の心を持ち、 品質保証と物流の革新を通して、 社員の成長を求め、社会に貢献する。

当社は、産業用包装資材の製造販売を行っております。重包装袋業界ではトップシェアを誇ります。

設立以来、お客様からの、こんな物を包みたい・運びたいというご要望に対し、メーカーとしてのこだわりを持って、一つ一つ応えていくことで技術力に磨きをかけてきました。その積み重ねと、常にプラスワンの展開を心がけることで、昨年12月には設立80周年を迎えました。

Beyond Showa 80th (80周年 その先を見据えて)

袋は、内容物を使用する際には捨てられてしまうものではありますが、お客様の製品を包装している間はおお客様の顔となります。このことにプライドと責任をもって、80周年という歴史に安住することなく、100周年の未来に向けて、長期持続的な企業価値の向上を目指していきます。

社長メッセージ

通期の取り組みのポイント

回復需要への対応、新製品SVパックの拡販など新規受注、アジアの旺盛なクラフト紙袋需要の取り込みで、増収増益を達成。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
当社は第120期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当期における日本経済は、当初は緩やかな回復基調にあるとされてきましたが、中国経済の減速懸念や米国経済の成長率の低下を受けて、停滞感が強まってきました。また、当グループの主力製品であるクラフト紙袋業界では、従来からの需要の漸減傾向が続いております。

このような状況の中で、当社は、海外事業が好調を維持し、国内では需要の回復を捉えるとともに、新規受注、コスト低減に努めた結果、前年度の低迷を脱して、増収増益の結果となりました。

連結売上高は20,068百万円で前期比226百万円の増収でした。損益では、売上増に加えて売上総利益率の向上で、営業利益1,098百万円（前期比282百万円の増益）、経常利益1,180百万円（同248百万円の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益824百万円（同165百万円の増益）となりました。



代表取締役社長 **大西 亮**

セグメント情報

フィルム製品

【事業説明】

加熱収縮を利用した大型包装用シュリンクフィルム「エスタイト」、フィルムの弾性を利用したパレットストレッチフィルム「エスラップ」、また食品トレーに貼り合わせる印刷用ポリスチレンフィルム「エスクレア」を主とする産業用フィルム。そして、高い防霧効果と流滴持続性を持ち合わせた農POフィルム「キリヨケパーナル」「スーパーパーナル」、また軽くて作業性に優れた「農サクビ」や果樹専用フィルム「フルーツ物語」などを主とした農業用フィルム。どちらも、環境に優しいポリエチレン樹脂とポリスチレン樹脂を主原料として、製造・販売されています。

【事業概況】

当社のフィルム製品の売上数量は、産業用ではエスタイト、エスクレア、発泡フィルムの不振により△14.0%、農業用ではキリヨケパーナル、フルーツ物語、農サクビ等の不振によって△2.1%といずれも減少しました。しかし、原油安を反映して原材料価格が低下し、損益は良化しました。

【主力製品】



(産業用)



(農業用)

コンテナ

【事業説明】

一度に大量の粉粒物を輸送するための、500kg・1t用のワンウェイフレコン「エルコン」、5t・20フィート用を主力とした大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、また液体輸送用の1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」やコンテナライナー「エスタンク」を製造・販売しています。

【事業概況】

当社の「エルコン」の売上数量は、自社工、輸入販売品とも増加しました。「バルコン」は前期比2.4%減でした。液体輸送用では、「エスキューブ」は順調に伸びて7.4%増、「エスタンク」は数量は少ないながら前年の不振から復活しつつあります。

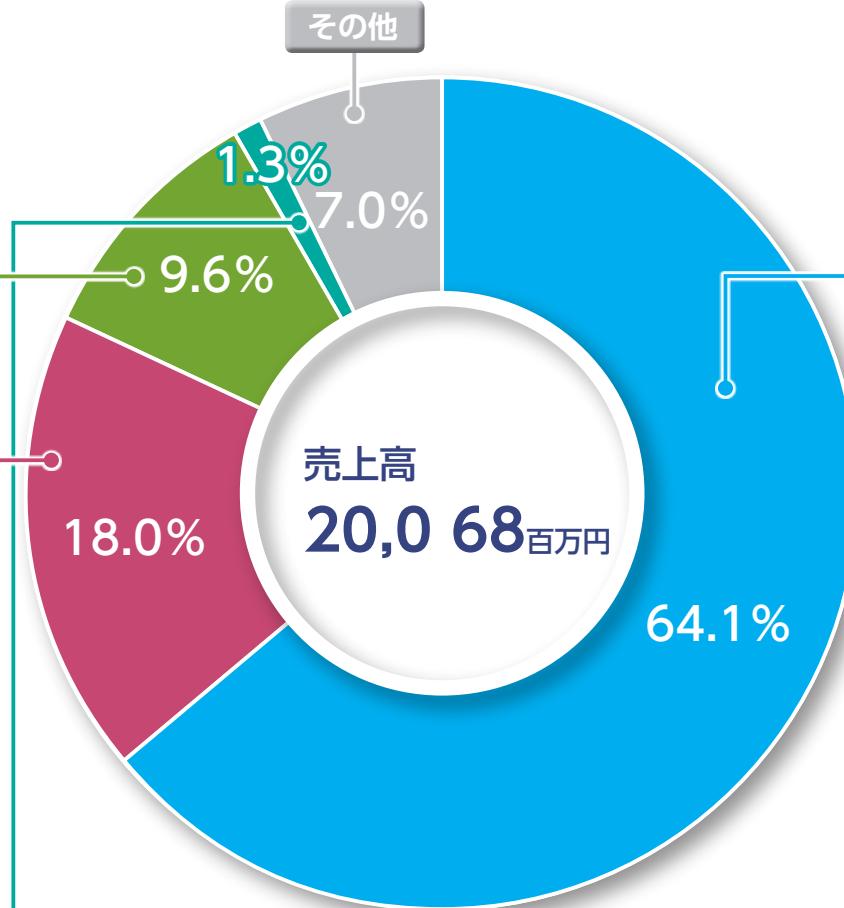
【主力製品】



不動産賃貸

【事業概況】

賃貸用不動産の内容に大きな変動はありませんでしたが、契約内容に多少の変動があり、当セグメントの連結売上高は254百万円で、前期から14百万円減少しました。



重包装袋

【事業説明】

プラスチックの原料等化学工業製品、玄米・精米等の農産物、小麦粉・塩・砂糖等の食品、他にもペットフード、化学肥料、培土等多様な物品を、包装する紙袋・ポリエチレン袋に加え、粉用新製品SVパックを製造・販売しています。内容物の特性や顧客の要望に応じて、ガスバリア・イージーオープン・超防湿・環境負荷低減等の機能を付加しています。また一昨年から、米麦袋の全製造ラインにトレーサビリティシステムを設置し、取引先からの品質管理強化の要望に応えています。

【主力製品】



【事業概況】

当社のクラフト紙袋の売上数量は前期比で3.2%増加しました。米麦、砂糖・甘味用途は減少しましたが、主力の合成樹脂用途のほか、製粉、その他食品、農水産物等の用途で数量を伸ばしました。ポリエチレン重袋、中型袋の売上数量は、それぞれ前期比+1.9%、+3.6%と増加しました。前期に引き続き、新製品SVパックの拡販を推進し、大手製粉メーカーで採用いただきました。

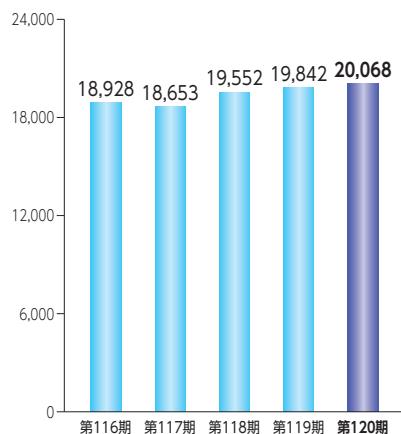
【次期の見通しと課題】

次期も、新興国経済の減速や日本経済の停滞が懸念される等、当社グループの事業環境は容易なものとは言えませんが、グループ全体での営業活動を強化するとともに製造環境を整備して、技術力と長年の間に培った顧客との信頼関係を基礎に、取引の拡充と適切な利潤の確保に努めてまいります。

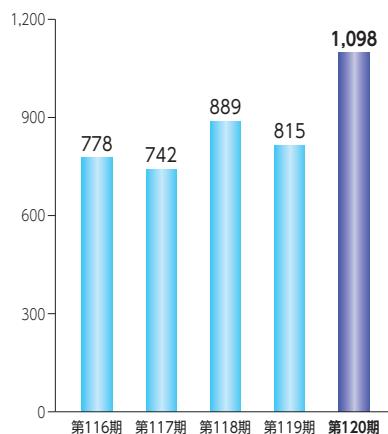
当社グループの次期の業績は、売上高21,000百万円（伸長率4.6%）、営業利益1,140百万円（伸長率3.8%）、経常利益1,220百万円（伸長率3.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益830百万円（伸長率0.6%）を見込んでおります。

連結財務ハイライト

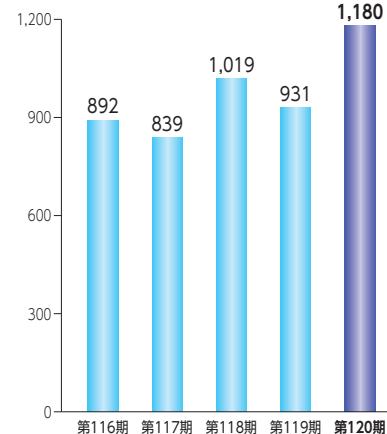
売上高 (単位：百万円)



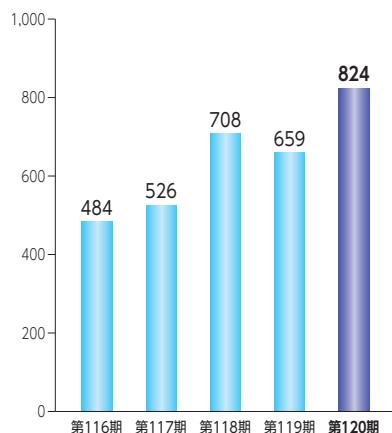
営業利益 (単位：百万円)



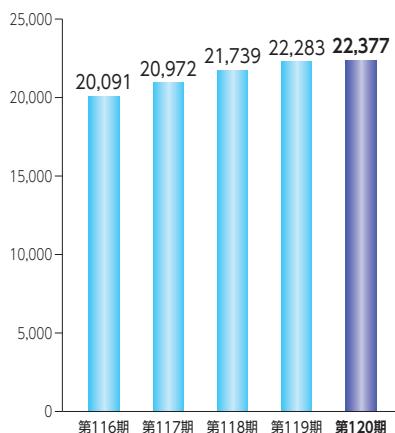
経常利益 (単位：百万円)



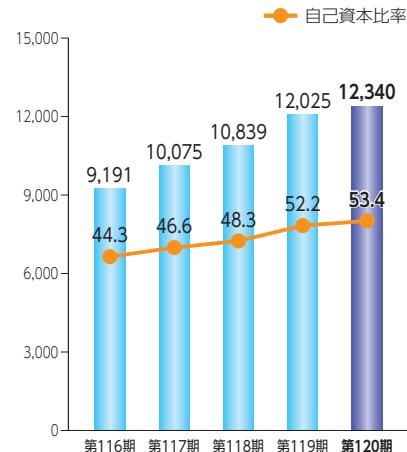
親会社株主に帰属する
当期純利益 (単位：百万円)



総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円) / 自己資本比率 (単位：%)



SVパックの改良品を開発

これまでも「進化する両底貼り袋として」紹介してきましたが、改良品の開発に成功しました。

SVパックは、従来の製品より粉体製品の漏れを更に抑制できるように開発した両底貼り袋です。

改良品は、内力紙（補強紙）を、端部に接着剤を塗布した上で、筒状に形成して充填口とし、内容物を充填後、接着剤を熱で再活性化させ、口封緘します。この製法により、従来のSVパックより一段と粉漏れを抑制できます。

軽量化したSVパックが大手食品会社で採用される

第120期中間報告書で「SVパックの軽量化に成功」を紹介しましたが、この製品のコスト削減・温室効果ガス削減効果が評価され、大手食品会社での採用が決定しました。

元気カンパニーIN東京

㈱東京商工リサーチが発行する機関誌「TSR情報」2015年8月14日号で、当社グループの㈱ネスコが、「元気カンパニーIN東京※ 増収率トップ100社」の第64位として、紹介されました。

※元気カンパニーIN東京：本社の所在地が東京にあり、㈱東京商工リサーチに決算情報等を開示し、年商・利益・評点等が一定の基準を満たした企業を選定している。

来期（第121期）配当予想

第120期の配当は中間配当金6円、期末配当金は、設立80周年記念配当2円を含む8円で、年間14円でした。

本年10月1日に、2株を1株にする株式併合を実施しますので、これを踏まえて来期は、中間配当金7円（併合前1株当り）、期末配当金14円（併合後1株当り）としています。実質的な年間配当金は第120期と同じです。

会社概要 (平成28年3月31日現在)

■設立

昭和10年12月20日

■資本金

6億4,050万円

■主要な事業内容

クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売

■主要な事業所

本 社 〒162-0845

東京都新宿区市谷本村町2番12号

電話 03(3269)5111

支 店 大阪、西日本(山口)、中部(名古屋)、東北(仙台)

工 場 東京(埼玉)、防府(山口)、富山、亀山(三重)、盛岡(岩手)、掛川(静岡)

子会社 九州紙工(鹿児島)、ネスコ(東京)、山陰製袋工業(島根)、山陰パック(島根)、昭友商事(東京)、タイ昭和パックス(タイ王国)

当社の株式の状況 (平成28年3月31日現在)

■発行可能株式総数 26,900,000株

■発行済株式の総数 8,900,000株

■株主数 1,043名

■大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社サンエー化研	1,693	19.1
新生紙パルプ商事株式会社	1,675	18.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	270	3.0
特種東海製紙株式会社	260	2.9
株式会社みずほ銀行	160	1.8
農 林 中 央 金 庫	150	1.7
株式会社鹿児島銀行	140	1.6
昭和パックス社員持株会	132	1.5
岡 本 知 久	110	1.2
岡 本 圭 介	100	1.1

(注)持株比率は自己株式(19,780株)を控除して計算しております。

株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

期末配当金支払
株 主 確 定 日 3月31日

中間配当金支払
株 主 確 定 日 9月30日

基 準 日 定時株主総会については、3月31日その他定款に定めがある場合のほか、必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

お 取 扱 窓 口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。

特別口座管理機関 お 取 扱 店 みずほ証券およびみずほ信託銀行
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

未 払 配 当 金 の お 支 払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります)

単 元 株 式 数 1,000株

公 告 方 法 電子公告により、当社ホームページに掲載
ただし、事故その他やむをえない事由により電子公告によるができない場合は、日本経済新聞に掲載

役員 (取締役および監査役) (平成28年3月31日現在)

代表取締役社長 大 西 亮

常 務 取 締 役 白 方 茂 樹 営業本部長

常 務 取 締 役 土 田 隆 夫 タイ昭和パックス(株) 代表取締役社長

常 務 取 締 役 花 山 宜 久 (株)ネスコ 代表取締役社長

取 締 役 飯 崎 充 管理本部長

取 締 役 森 文 男 生産本部長

常 勤 監 査 役 佐 藤 隆

監 査 役 藤 岡 貞 章 (株)サンエー化研 常務取締役

監 査 役 宮 本 貞 彦 新生紙パルプ商事(株) 常勤監査役

※藤岡貞章氏および宮本貞彦氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。